

第1章 調査の概要

1 調査目的

広島市に居住する外国人市民の生活や意識・ニーズ等を把握し、今後の多文化共生施策の企画・実施の基礎資料として活用する。多文化共生社会の形成には、外国人市民だけでなく日本人市民の理解が不可欠であることから、日本人市民の多文化共生に対する意識も調査する。

2 調査期間

令和4年9月1日（木）～令和4年10月14日（金）

3 調査対象

(1) 広島市に居住する18歳以上の外国人市民（5,000人）

調査票はハンダグ、中国語、ベトナム語、英語、フィリピン語、ポルトガル語、タイ語、スペイン語の8種類を作成し、対象者全員にやさしい日本語と国籍（出身地）の主たる言語の2部を送付した。

(2) 広島市に居住する18歳以上の日本人市民（5,000人）

4 抽出方法

令和4年6月30日時点で広島市の住民基本台帳に記載されている18歳以上の外国人市民及び日本人市民の中からそれぞれ5,000人を無作為に抽出した。

5 調査方法

調査対象者に日本語及び主たる言語1種類の計2種類（日本人市民向け調査は日本語の1種類）の調査票を郵送し、同封した返信用封筒により無記名で回収した。

6 調査票の回収結果

対象	送付数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
外国人市民	5,000	1,665	33.3%	1,662	33.2%
日本人市民	5,000	2,569	51.4%	2,569	51.4%

7 報告書の見方

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・自由記述の回答は、趣旨を変えない範囲で要約し記述している。

8 調査の実施体制

本調査の実施及び調査結果の集計は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して行った。